

Tracers S&P500配当貴族インデックス (米国株式)

追加型投信／海外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第1期(決算日2023年11月16日)

作成対象期間(2022年10月28日～2023年11月16日)

第1期末(2023年11月16日)	
基準価額	10,534円
純資産総額	9,142百万円
第1期	
騰落率	5.3%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「Tracers S&P500配当貴族インデックス(米国株式)」は、2023年11月16日に第1期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「インデックス マザーファンド 米国配当貴族株式」受益証券に投資を行ない、S&P500配当貴族指数(税引後配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<645073>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

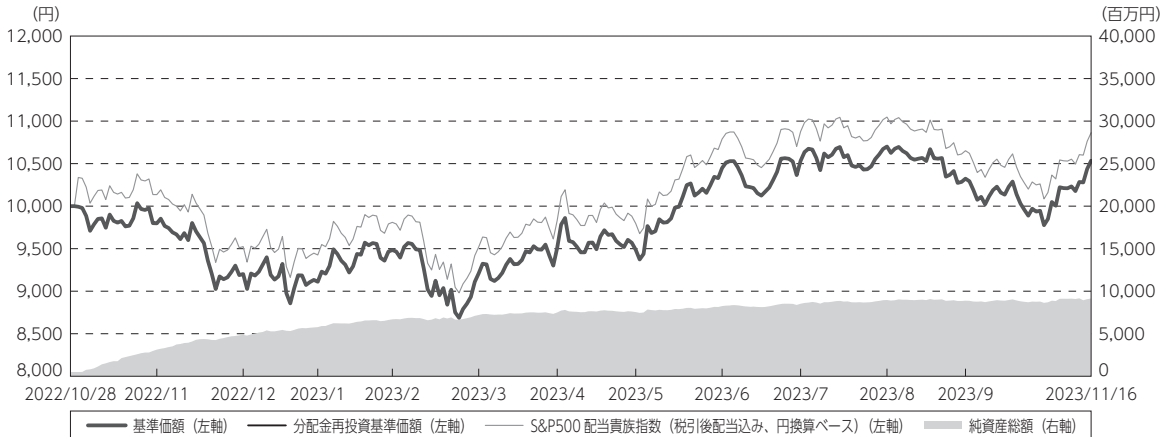
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年10月28日～2023年11月16日)



設定日：10,000円

期末：10,534円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率：5.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) S&P500 配当貴族指数 (税引後配当込み、円換算ベース) は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) S&P500 配当貴族指数 (税引後配当込み、円換算ベース) は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式 (これに準ずるものを含みます。) に実質的に投資し、米国の増配銘柄で構成される指数 (S&P500 配当貴族指数 (税引後配当込み、円換算ベース)) に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国の消費者物価指数 (C P I) などのインフレ指標が市場予想を下回り、米国連邦準備制度理事会 (F R B) の利上げペース鈍化への期待が強まったこと。
- ・交渉難航が懸念された米国政府の債務上限問題を巡る政府と野党の協議が最終的に基本合意し、債務上限停止法案が成立したこと。
- ・円安/アメリカドル高となったこと。

<値下がり要因>

- ・インフレ抑制のため欧米の主要中央銀行が利上げを継続したこと。
- ・米国の金融引き締めが長期化するとの見方が改めて広がり、欧米の長期金利が上昇したこと。
- ・イスラエルとイスラム組織ハマスとの間の戦闘激化により地政学的リスクが高まったこと。

1万口当たりの費用明細

(2022年10月28日～2023年11月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	12	0.122	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(4)	(0.041)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(6)	(0.058)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.023)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	11	0.112	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(4)	(0.043)	
(投 資 信 託 証 券)	(7)	(0.069)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.002)	
(d) そ の 他 費 用	15	0.154	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.045)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(10)	(0.104)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	38	0.390	
期中の平均基準価額は、9,819円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

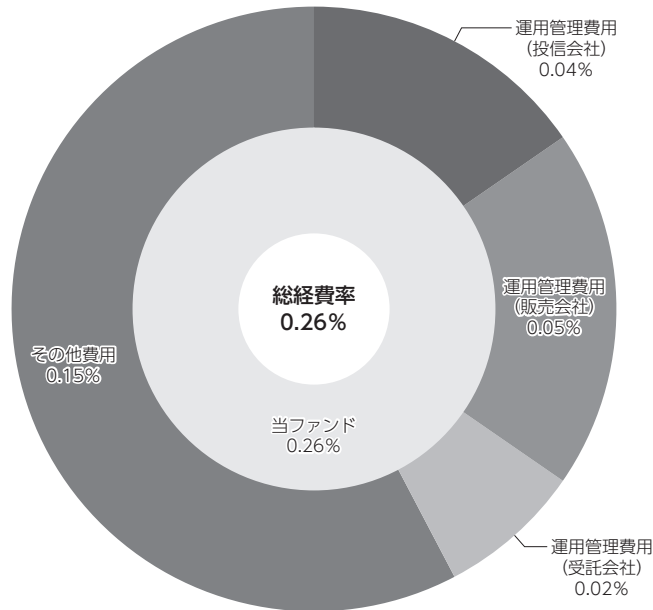
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.26%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月16日～2023年11月16日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) S&P500配当貴族指数(税引後配当込み、円換算ベース)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2022年10月28日です。

	2022年10月28日 設定日	2023年11月16日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,534
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	5.3
S&P500配当貴族指数(税引後配当込み、円換算ベース)騰落率 (%)	—	8.6
純資産総額 (百万円)	500	9,142

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年11月16日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) S&P500配当貴族指数(税引後配当込み、円換算ベース)は当ファンドのベンチマークです。

投資環境

(2022年10月28日～2023年11月16日)

(米国株式市況)

米国株式市場では、期間の初めと比べて株価は上昇しました。

期間の初めから、2023年7月下旬にかけては、インフレ抑制のため欧米の主要中央銀行が利上げを継続したことや、米国の地方銀行の経営破綻やスイスの大手金融グループの経営悪化から金融システムに対する不安が高まったことなどが株価の重しとなったものの、米国のCPIなどのインフレ指標が市場予想を下回り、FRBの利上げペース鈍化への期待が強まったことや、交渉難航が懸念された米国政府の債務上限問題を巡る政府と野党の協議が最終的に基本合意し、債務上限停止法案が成立したこと、公表された米国の2023年4-6月期の企業業績が概ね良好な内容となったことなどを背景に、株価は上昇しました。8月上旬から10月下旬にかけては、米国連邦公開市場委員会(FOMC)の結果を受けて、米国の金融引き締めが長期化するとの見方が改めて広がり、欧米の長期金利が上昇したことや、イスラエルとイスラム組織ハマスとの間の戦闘激化による地政学的リスクの高まりなどが重しとなり、株価は下落しました。11月上旬から期間末にかけては、FOMC後のFRB議長の記者会見を受けて米国の利上げサイクル終了への期待が強まったことや、米国の雇用統計にて雇用が減速し欧米の長期金利が低下したことなどが支援材料となり、株価は上昇しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。

円/アメリカドルの推移

**当ファンドのポートフォリオ**

(2022年10月28日～2023年11月16日)

(当ファンド)

当ファンドは、「インデックス マザーファンド 米国配当貴族株式」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(インデックス マザーファンド 米国配当貴族株式)

主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式(これに準ずるものを含みます。)に投資し、米国の増配銘柄で構成される指数(S&P500配当貴族指数(税引後配当込み、円換算ベース))に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年10月28日～2023年11月16日)

期間中における基準価額は、5.3%の値上がりとなり、ベンチマークである「S&P500 配当貴族指数 (税引後配当込み、円換算ベース)」の上昇率8.6%を概ね3.3%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

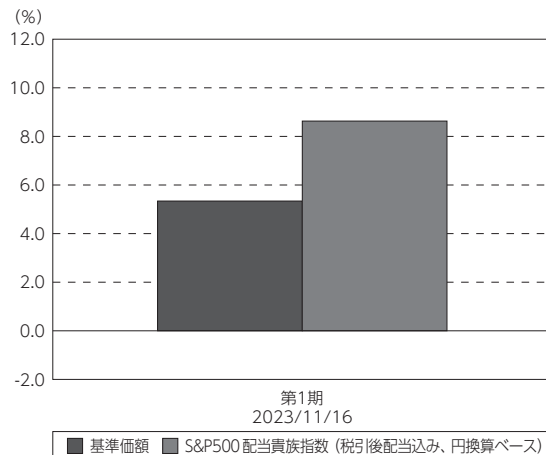
<プラス要因>

- ・ファンドとベンチマークで適用される配当税率の差異が寄与したこと。

<マイナス要因>

- ・設定時の騰落率測定方法の差異*が影響したこと。
- ※ファンドの騰落は設定日翌日から発生する一方で、ベンチマークの騰落は設定日から発生する測定方法となっているため、期初に、基準価額とベンチマークとの間に乖離 (約3.4%) が生じました。

基準価額とベンチマークの対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) S&P500 配当貴族指数 (税引後配当込み、円換算ベース) は当ファンドのベンチマークです。

分配金

(2022年10月28日～2023年11月16日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第1期
	2022年10月28日～ 2023年11月16日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	832

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率は異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「インデックス マザーファンド 米国配当貴族株式」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないます。

(インデックス マザーファンド 米国配当貴族株式)

引き続き、主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式に投資し、米国の増配銘柄で構成される指数 (S&P500 配当貴族指数 (税引後配当込み、円換算ベース)) に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。

対象指数に採用されている株式の一部または全部の値動きに連動をめざす上場投資信託証券や債券などに投資する場合があります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

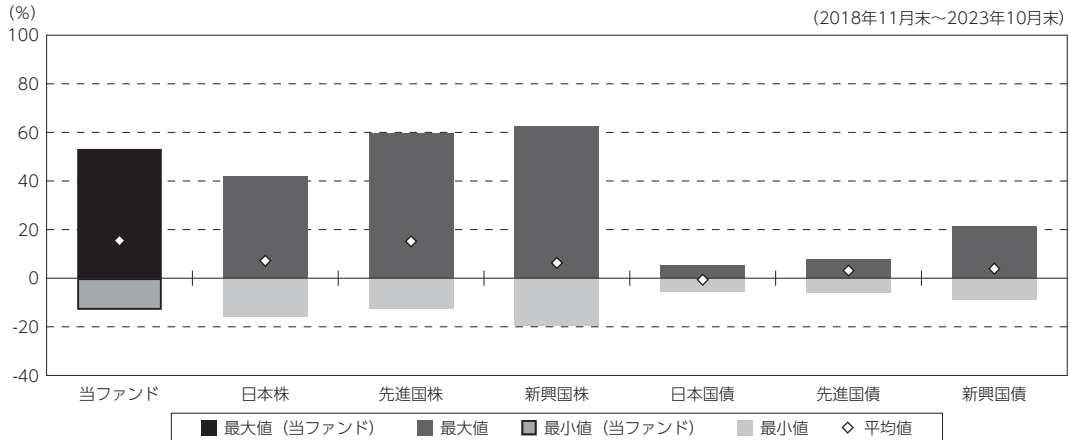
2022年10月28日から2023年11月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	2022年10月28日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「インデックス マザーファンド 米国配当貴族株式」受益証券に投資を行ない、米国の増配銘柄で構成される指数 (S&P500 配当貴族指数 (税引後配当込み、円換算ベース)) に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	Tracers S & P 500 配当貴族インデックス (米国株式)	「インデックス マザーファンド 米国配当貴族株式」受益証券を主要投資対象とします。
	インデックス マザーファンド 米国配当貴族株式	米国の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式に実質的に投資し、S&P500 配当貴族指数 (税引後配当込み、円換算ベース) に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。対象指数の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性を勘案し委託者の判断により決定するものとします。運用にあたって、対象指数に採用されていない株式についても、運用目的を達成するために有用であると判断される場合は投資を行ないます。また、対象指数に採用されている株式の一部または全部の値動きに連動をめざす上場投資信託証券や債券などに投資する場合があります。投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的のため、株価指数先物取引や外国為替予約取引などを活用することがあります。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引などの買建玉の時価総額の合計額および外貨建資産の組入総額と外国為替予約取引などの買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	53.2	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 13.0	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	15.5	7.2	15.2	6.3	△ 0.6	3.1	3.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの既定日以前の年間騰落率につきましては、当ファンドの対象インデックスを用いて算出しております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: 東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株: MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのベンチマークについて

●S&P500配当貴族指数 (税引後配当込み、円換算ベース)

S&P500配当貴族指数は、米国の主要産業を代表する500社の株式で構成されたS&P500指数の中から、長期にわたり連続増配を行なっている企業の株式で構成される株価指数です。S&P500配当貴族指数 (税引後配当込み、円換算ベース) とは、現地通貨ベースの税引後配当込み指数値をもとに、日興アセットマネジメントが円換算したものです。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象とした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年11月16日現在)

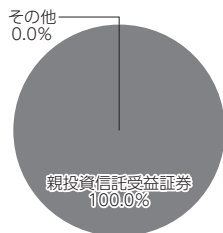
○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
インデックス マザーファンド 米国配当貴族株式	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

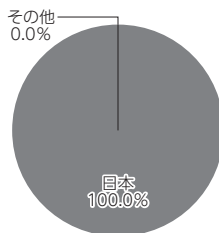
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

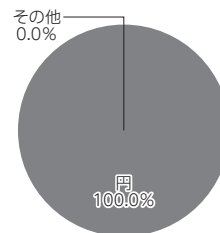
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

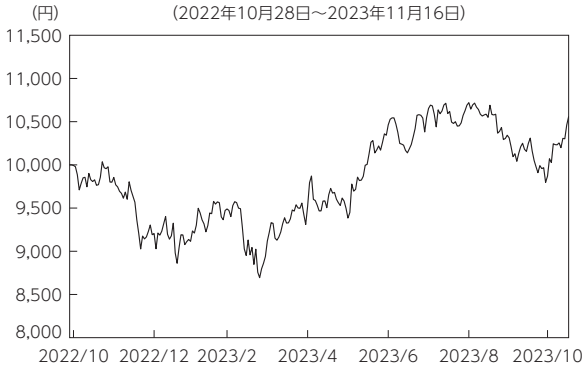
項目	第1期末
	2023年11月16日
純資産総額	9,142,258,068円
受益権総口数	8,678,448,638口
1万口当たり基準価額	10,534円

(注) 期中における追加設定元本額は13,207,674,173円、同解約元本額は5,029,225,535円です。

組入上位ファンドの概要

インデックス マザーファンド 米国配当貴族株式

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年10月28日～2023年11月16日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式 式) (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	11 (4) (7) (0)	0.112 (0.043) (0.069) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株 式 式) (投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.002 (0.000) (0.002)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.045 (0.045) (0.000)
合 計	15	0.159

期中の平均基準価額は、9,829円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

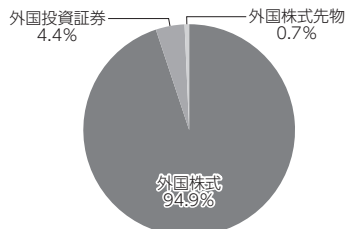
【組入上位10銘柄】

(2023年11月16日現在)

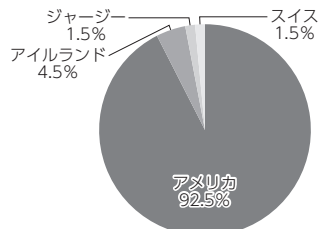
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	TARGET CORP	生活必需品流通・小売り	アメリカドル	アメリカ	1.7%
2	IW GRAINGER INC	資本財	アメリカドル	アメリカ	1.6%
3	S&P GLOBAL INC	金融サービス	アメリカドル	アメリカ	1.6%
4	ECOLAB INC	素材	アメリカドル	アメリカ	1.6%
5	STANLEY BLACK & DECKER INC	資本財	アメリカドル	アメリカ	1.6%
6	CLOROX COMPANY	家庭用品・パーソナル用品	アメリカドル	アメリカ	1.6%
7	SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	素材	アメリカドル	アメリカ	1.6%
8	SMITH (A.O.) CORP	資本財	アメリカドル	アメリカ	1.6%
9	INTL BUSINESS MACHINES CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	1.6%
10	LOWE'S COS INC	一般消費財・サービス流通・小売り	アメリカドル	アメリカ	1.6%
	組入銘柄数		68銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

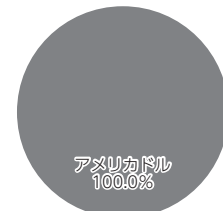
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。